

Bibliophiles

ビブリオフィルス No.7(2018年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



☆読書感想文コンクールの課題図書☆

まずは『**車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる**』。事故で後足が使えない、という障害を抱えた犬との暮らしを描いたノンフィクションです。『**いのちは贈りもの ホロコーストを生きのびて**』は、題名からも少し想像できますが、ナチスの強制収容所から生還したユダヤ系フランス人女性の体験記です。最後の『**わたしがいどんだ戦い 1939年**』は3作の中では唯一の小説で、アメリカ文学。主人公の女の子・エイダは生まれつき足が悪いのを理由に母親からいじめられ、アパートの一室に閉じ込められていたが、少女の心の成長を描く感動作です。

『空飛ぶタイヤ』 池井戸 潤

6月に公開されて以来、7月上旬ですでに観客動員数 100 万人を突破、サザンの歌う主題歌もヒットと、快進撃を続ける映画の原作本がこれです。図書館も誠に遅ればせながら、買わせていただきました。(汗) 走行中のトレーラーから外れたタイヤは凶器と化し、通りがかりの母子を襲います。事故の原因は「整備不良」なのか、それとも…。巨大企業の「リコール隠し」をめぐる秀作です。

『内向型を強みにする』

マーティ・O・レイニー

「自分一人か、二・三人の親しい友達とくつろぐほうが好ましい。」「話したり行動したりする前に、考えることが多い。」「これらの言葉が当てはまるなら、あなたは世の中の 25%を占める「内向型」人間かも知れません。そして、世の中は多数派の 75%の「外向型」人間が生きやすいような仕組みになっていることが多く、内向型の人は窮屈な思いをすることが良くあるのです。では、内向型の人が「ありのままに」生きる方法とは？」

『生きてるだけで100点満点!』 奥山佳恵

世界的にダウン症患者の出生率が高まっています。ダウン症自体を治す方法は今のところなく、そして患者のおよそ 50%が先天的に心臓病を抱えているのです。この本の著者で女優の奥山佳恵の二男はダウン症患者として生まれ、その小さな心臓には何と3つもの穴が空いていました。この本は、親として家族として、障がいを持つ子と向き合う日々を温かくつづった記録です。

『秋田犬』

宮沢輝夫

金メダリストのスケーター・ザギトワ選手や元横綱・朝青竜に贈られたことで、秋田犬が最近ニュースになりました。また、国の天然記念物に指定され、「忠犬ハチ公」のイメージでもすっかり定着しています。しかし、そんな表の顔とは裏腹に、秋田犬は今、日本国内では飼育頭数が減少の一途をたどり、存亡の危機に瀕しているのです。この本は、そんな秋田犬を祖先のオオカミからさかのぼって、詳しく解説します。

『最新電力・ガス業界の動向とカラクリがよくわかる本』 本橋恵一

東日本大震災での福島原発事故は日本政府の想定を遥かに超えたもので、この事件をきっかけとして政府はそれまでのエネルギー政策を「ゼロ」から見直すことを迫られます。その政策転換の結果、一般の家庭でも電力やガスが自由に選べるようになりました。この本はそうした最新の電力・ガス業界の動向のほか、原子力発電や新しいエネルギーも解説しています。

図書館からのお知らせ

①夏休みの開館日時

7/23 (月) ~ 31 (火)、8/20 (月) ~ 24 (金) の 9:00~13:00。ただし 7/25 (水) 26 (木) はオープン図書館(生徒同伴の保護者も借りられる)のため、16:00 まで開いています。

②読書感想文コンクール

任意のコンクールで、自由に選んだ本か、もし

くは課題図書を読んで二千文字以内(四百字原稿用紙五枚)にまとめて図書館まで提出して下さい。締め切りは 8/30 (木) までで、課題図書は左に書いてある通り、3冊とも本校図書館にあります。



2種類の『銀河鉄道の夜』と『風の又三郎』、読み比べてみよう!

宮澤賢治の文庫本を4冊、買い直しましたが、『銀河鉄道の夜』と『風の又三郎』はそれぞれ2種類収められています。(ちなみに後者の別バージョンは『風野又三郎』!) これは賢治が大の「改訂好き」だったため、一般に知られているストーリーとは全くの別物となっています。ネタバレになりますのでこれ以上は言えませんが、『風野又三郎』における「又三郎」の正体は・・・ぜひ、読んでみて下さい。 ※ほかにも、西尾維新の『宵物語』、『地球の歩き方 台湾』など色々入っています。

今号のひとこと

茶湯の交會は一期一会といひて、たとへば、幾度おなじ主客交會するとも、今日の会にふたたびかへらざる事を思へば、実にわが一世一度の会なり。 井伊直弼(いい なおすけ 1815-1860)

茶の会は「一期一会」と言つて、たとへ同じ顔ぶれで何回も茶會を開いたとしても、今日ただ今のこの會は決して繰り返すことのない會だと思へば、それはわが一生に一度の會である。

「一期一会(いちごいちえ)」。この言葉は、この文章に由来するとされます。しかし、本当のオリジナルはさらに16世紀の千利休の言葉にさかのぼる、とも言われています。毎日を大切に生きたいものですね。